

Nursing Now キャンペーンへの取組みについて ～看護の力で健康な社会を！～

Nursing Now とは、ナイチンゲール生誕 200 年となる 2020 年に向け、看護職がもつ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題に積極的に取組み、人々の健康の向上に貢献するために行動する**世界的なキャンペーン**です。英国の議員連盟が活動をスタートさせ、WHO(世界保健機関)とICN(国際看護師協会)が賛同して、いま世界的に広がっています。保健医療制度や人々のニーズが大きく変化中、看護職がこの変化に対応し、一層活躍するには、看護職が適切に評価され、保健医療政策に影響を及ぼすことが重要であり、そのための様々な条件や環境を整える必要があります。

私たち公益社団法人日本看護協会と日本看護連盟は、このたび、この趣旨に賛同して**2020 年までの 2 年間、Nursing Now キャンペーンに取組むことになりました。**

日本では、少子超高齢化による人口・疾病構造の変化等を見据え社会保障制度改革が進んでおり、日本の保健医療提供体制が大きく変わりつつあります。まさしく医療・ケア・生活が一体化した地域包括ケアシステムへの転換です。看護職には病気や障がいとともに生きる「暮らしの場」の看護、治療や回復のための医療機関での看護、地域住民の健康増進・疾病予防・介護予防をめざす保健活動などに加え、「生活」と保健・医療・福祉をつなぎ、**地域で暮らす全ての人々を支える健康な社会の醸成にも力を発揮することが求められています。**その役割を果たすためには、看護教育の拡充、健康で働き続けられる労働環境の整備、さらには安全で効率的にケアを提供するための看護職の役割拡大も必要です。

日本看護協会は、これらの課題解決のため重点政策として、①看護基礎教育制度の改革の推進、②地域包括ケアにおける看護提供体制の構築、③看護職の働き方改革の推進、④看護職の役割拡大の推進と人材育成、を掲げ取り組んでいます。

Nursing Now の趣旨は、まさにこの私たちの取組みに合致し、同じ方向性を目指すものです。Nursing Now キャンペーンを国内で展開することで、看護職が一丸となって社会のニーズに取組む機運としたいと考えています。

看護職がもつ可能性を最大限に活用し、社会が求める役割を果たし、人々の健康な暮らしに貢献できるよう、一人でも多くの看護職、そして国民の皆様の本キャンペーンへのご賛同、ご協力とご支援をお願いいたします。

2019 年 2 月吉日

公益社団法人 日本看護協会
会長 福井トシ子

日 本 看 護 連 盟
会長 草間 朋子